Combi

コンビ ハイ&ロースウィングラック
ロアンジュ オートスウィング
RU-700　RU-650
取扱説明書

品質保証書付

本製品は一般家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障などについては、修理サービスが行えない場合があります。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■本書は大切に保管してください。
■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。
■本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

もくじ

はじめに

使いかた

その他

ご使用の前に

本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドや、いすとして使用されることを目的としています。

望ましい連続使用時間

簡易ベッドとして60分間/スウィング15分間　※1日の合計使用時間：3〜4時間

使用できるお子さまの年齢

新生児〜48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）

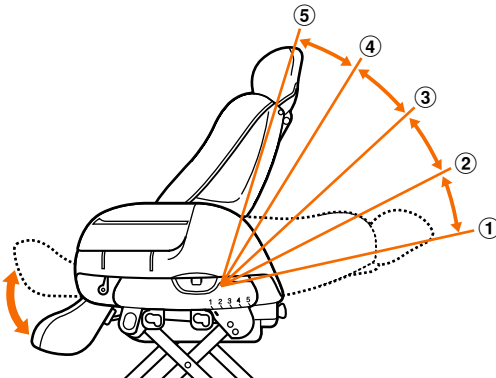
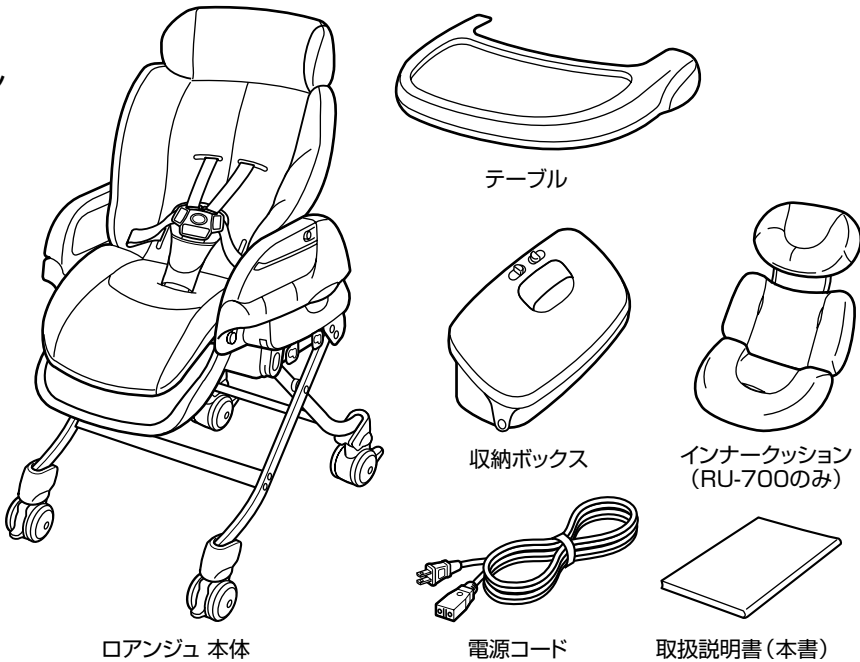
簡易ベッドとして使用するときは

新生児〜5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg〜9kg、身長70cmまで）
※スウィングをするときも同じです。

いすとして使用するときは

腰がすわってから（おすわりができるようになってから）48ヵ月まで
（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）

開封されましたら、各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

- ロアンジュ本体（クッション付）
- テーブル
- 収納ボックス
- インナークッション（RU-700のみ）
- 電源コード（1.8m）
- 取扱説明書（本書）

● 組み立てる前に、裏表紙の「品質保証書」に次の項目を記入してください。
① セリアルNo.（本体背面にあります。7ページ下のイラストをご覧ください）
② お客様のお名前・ご住所・電話番号
③ 販売店名

使いかたの目安

本製品は、簡易ベッドや、いすとしてご使用いただけます。お子さまの月齢にあわせ下記の使用条件をお守りください。

月齢の目安		新生児〜2・3ヵ月	2・3ヵ月〜5・6ヵ月		5・6ヵ月〜48ヵ月
発育状態の目安		首がすわるまで	腰がすわるまで		腰がすわったころ
使用方法	簡易ベッド	○	○		×
	いす	×	○		○
スウィング		○	簡易ベッド ○	いす ×	×
			リクライニング①②使用時はスウィング可、③使用時は不可		
シートベルト	肩ベルト	必ず使用	リクライニング①②使用時は必ず使用、③使用時はどちらでも可		×
	腰/股ベルト	必ず使用	必ず使用		必ず使用
リクライニング角度の使用範囲		①	①②	③	③④⑤

インナークッションの使いかたの目安(RU/700のみ)

インナークッションは、お子さまを快適な姿勢に保つための姿勢保持クッションです。お子さまの月齢にあわせ、下記の使用条件をお守りください。（詳しくは、23ページをご覧ください）

月齢の目安	新生児〜2・3ヵ月	2・3ヵ月〜5・6ヵ月	5・6ヵ月〜10・11ヵ月	10・11ヵ月〜48ヵ月
発育状態の目安	首がすわるまで	腰がすわるまで	腰がすわったころ	
インナークッションの使いかた（頭部／背部／座部）	頭部/背部/座部を組みあわせて使用します。頭部の凸部が、お子さまの首の後ろになるように調節し使用します。	背部と座部を組みあわせて使用します。背部の上側の面ファスナーは、クッションの後ろに折り返して使用します。	座部のみを取り付けて使用します。	インナークッションは使用しません。

●新生児とは…この取扱説明書では、体重2.5kg以上で在胎週数37週以上のお子さまとしています。

安全にご使用いただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

●ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、保護者およびお子さまへの危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。
安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告/注意を促す内容があることを告げるものです。
✕	禁止行為であることを告げるものです。

✎	補足説明

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

●**使用できるお子さまの年齢：新生児～48ヵ月まで**（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
- **簡易ベッドとして使用するときは（2ページのリクライニング位置①と②）**
  ：新生児～5・6ヵ月ころまで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg～9kg、身長70cmまで）
  ※スウィングをするときも同じです。
- **いすとして使用するときは（2ページのリクライニング位置③④⑤）**
  ：腰がすわってから（おすわりができるようになってから）48ヵ月まで
  （お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）

●必ず股ベルト、腰ベルトを使用してください。
さらに簡易ベッドとして使用するときは、必ず肩ベルトも使用してください。
※スウィングを使用される場合も同じです。

思わぬ事故をまねくおそれがあります。

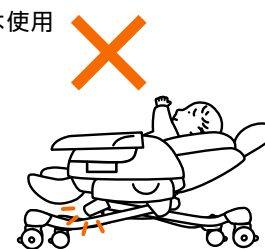
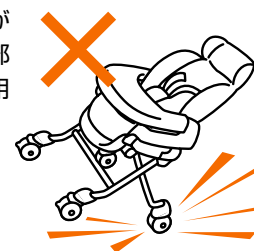
●必ず保護者の目の届くところで使用してください。
また、絶対にお子さまを1人で放置しないでください。
●お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目をはなさず十分注意してください。

●ラックの周りにいるお子さまがラックの下にもぐり込んだり、ラックの操作をしないよう注意してください。

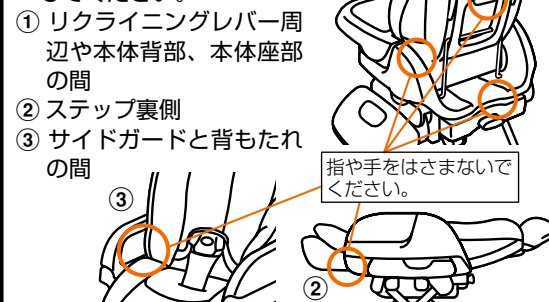
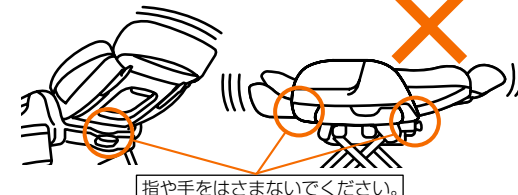
●ラックに腰かけたり、大人が荷重をかけないでください。

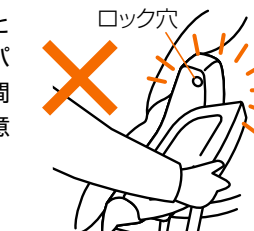
●一時的なお昼寝などには使用できますが、夜間就寝などの長時間寝かせるベッドとして使用しないでください。

●簡易ベッドとして使用するときは、お子さまをうつぶせで寝かせないでください。窒息するおそれがあります。

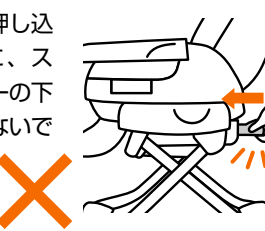
●収納ポジションでは使用しないでください。

●落下するなど、強い衝撃が加わり、変形・割れなど、部品が破損したラックは使用しないでください。

●ベンジン、シンナー、ガソリン、磨き粉などでふいたり、殺虫剤をかけないでください。

●次のような場所では使用しないでください。
- ストーブや熱器具など火気の近く
- 落下物の心配のあるところ
- 屋外など直射日光の当たる場所
- 浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所
- ほこりの多い場所
- 強い磁気の発生する場所
- 振動の発生する場所
- 多量の油分の発生する場所

●リクライニングを操作するときに、指や手をはさまないよう、下記の場所に注意してください。
① リクライニングレバー周辺や本体背部、本体座部の間
② ステップ裏側
③ サイドガードと背もたれの間

●スウィングする場合、製品背面の本体座部と裏面カバーの間、サイドガードとサイドカバーの間、ステップ裏側のすき間に指や手をはさまないよう注意してください。

●高さを調節するときや、収納レバーを操作するときに脚の間に指や手をはさまないよう注意してください。

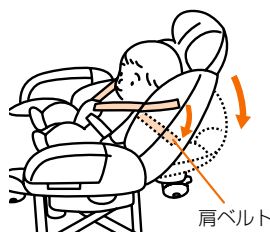
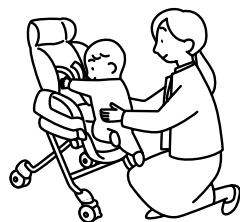
●ベビーパレットを閉じるときに、ロック穴やベビーパレットとサイドガードの間に指をはさまないよう注意してください。

●スウィングロックを押し込む操作をするときに、スウィングロックレバーの下に指を入れて操作しないでください。

次ページにつづく

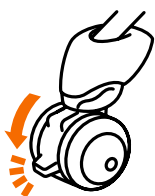
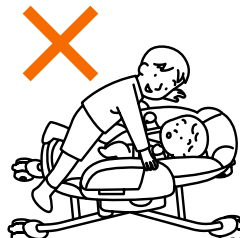
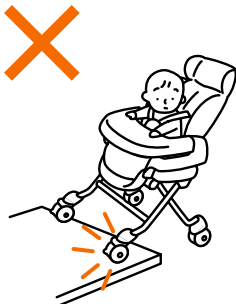
安全にご使用いただくために

お子さまが落ちるおそれがあります。

●股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。
簡易ベッドとして使用するときは、必ず肩ベルトも使用してください。
※スウィングをするときも同じです。

●お子さまが座面やステップに立ったり、テーブルや手すりから身を乗り出さないよう注意してください。

●肩ベルトは、お子さまの体にあわせてきちんと調節してご使用ください。（12ページ参照）
リクライニング角度を変えたときは、そのつどシートベルトを調節してください。（11ページ参照）

●お子さまが乗り降りするとき、特にお子さまがステップを踏み台にして乗り降りするときは、必ず保護者が付き添ってください。

●お子さまを乗せたまま、持ち上げて移動したり、高さ調節、収納レバー、リクライニングなどの操作をしないでください。また、操作は必ず保護者が行ってください。

ラックが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

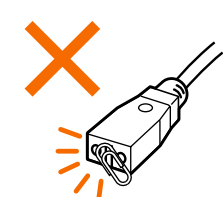
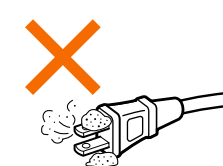
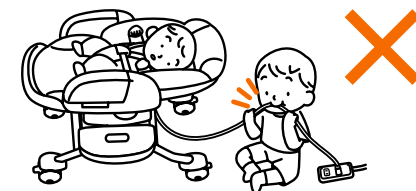
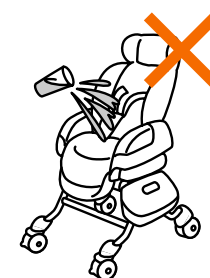
●移動するとき以外は、キャスターロックレバーを下げ、キャスターをロックしてください。（9ページ参照）

●1度に、2人以上のお子さまを乗せないでください。
●お子さまが乗っている場合も、乗っていない場合も、他のお子さまが手をかけたり、よじ登ることはおやめください。

●製品は水平な床で使用してください。傾斜・階段・段差（カーペットとフローリングの段差など）のある場所、またタイルなどすべりやすい場所では使用しないでください。
●外から力をかけると転倒のおそれがあります。特にお子さまが乗っている場合はご注意ください。

●破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。

●お子さまにラック（キャスターロックレバーなど）を操作させないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

●踏み台や台車、遊具のように使用しないでください。

感電や漏電による事故や火災のおそれがあります。

●ラックの分解、修理、改造は絶対に行わないでください。
特に裏面カバーは絶対に開けないでください。
●通気口やすき間から針金や金属片を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

●電源コードを接続するときは、コネクターに異物がついていないことを確認してください。異物がついたまま接続すると、火災のおそれがあります。

●電源プラグに付着したほこりは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。
火災のおそれがあります。

●お子さまが電源コードをなめたり、引っぱったりしないように注意してください。また使用しないときは、電源コードをお子さまの手の届かない場所に保管してください。

●ラックの座面に水などがかかった場合は、すぐにコンセントから電源プラグを抜き、水分を拭き取ってください。またクッションを取りはずして、本体内部に水分が流れ込んでいないことを確認してください。多量の水分が流れ込んだ場合は、使用を中止して当社コンシューマプラザにお問いあわせください。

⚠注意　取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ラックが破損するおそれがあります。

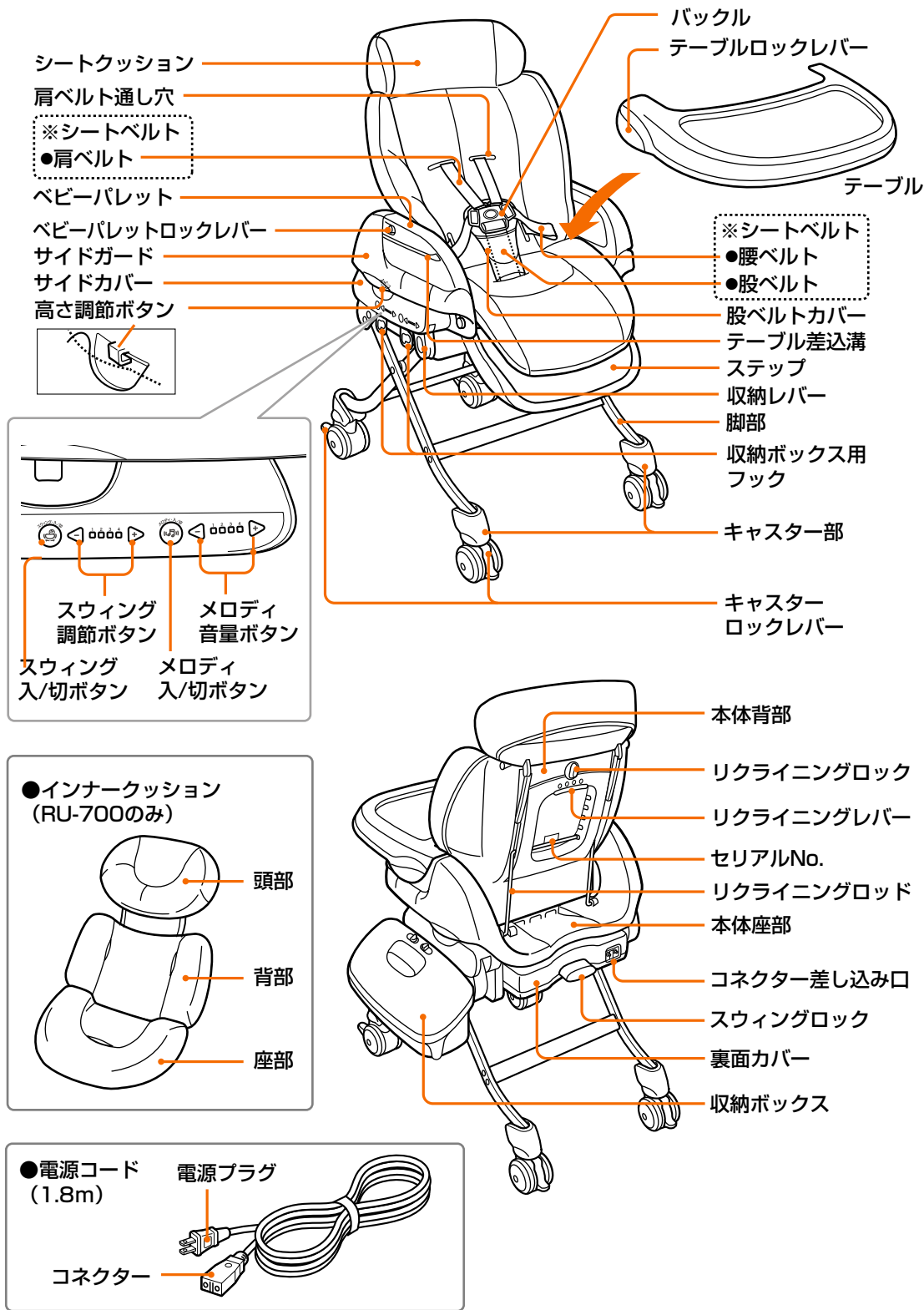
●リクライニングで背もたれの角度を変えた後は、必ずリクライニングロックをしてください。
●クッションは必ず取り付けて使用してください。
座面に穴や突起があり、お子さまの指などが傷つくおそれがあります。
●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
●電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

各部のなまえ

シートクッション
肩ベルト通し穴
※シートベルト
●肩ベルト
ベビーパレット
ベビーパレットロックレバー
サイドガード
サイドカバー
高さ調節ボタン
バックル
テーブルロックレバー
テーブル
※シートベルト
●腰ベルト
●股ベルト
股ベルトカバー
テーブル差込溝
ステップ
収納レバー
脚部
収納ボックス用フック
キャスター部
キャスターロックレバー
スウィング調節ボタン
メロディ音量ボタン
スウィング入/切ボタン
メロディ入/切ボタン

本体背部
リクライニングロック
リクライニングレバー
セリアルNo.
リクライニングロッド
本体座部
コネクター差し込み口
スウィングロック
裏面カバー
収納ボックス

●インナークッション（RU-700のみ）
頭部
背部
座部

●電源コード（1.8m）
電源プラグ
コネクター

※シートベルトとは、「腰ベルト・股ベルト・肩ベルト」の総称です。

高さ調節のしかた

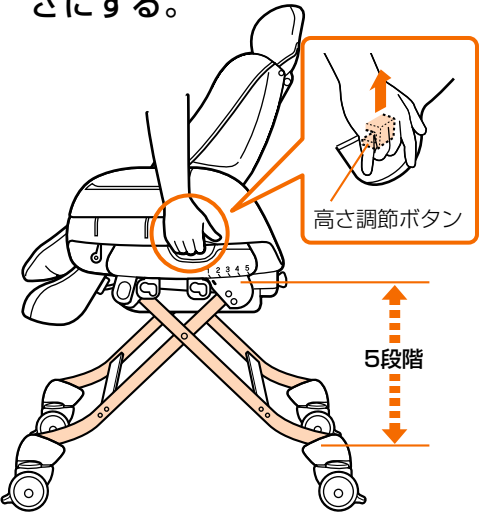
お部屋や利用するときの状態にあわせて、高さを5段階に調節できます。

⚠警告
- お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 高さ調節は、必ず保護者が行ってください。

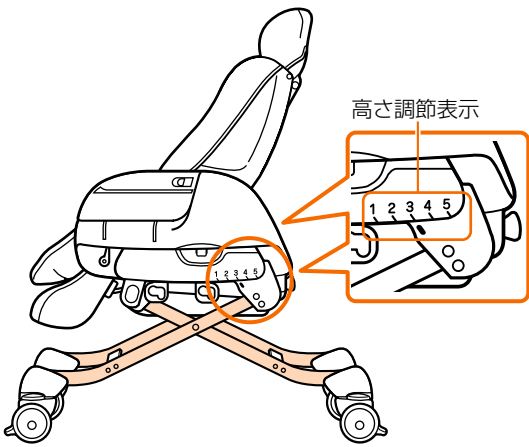
⚠注意
- お子さまを寝かせるときは、肩ベルトの通し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。
- 高さ調節がしにくい場合は、収納ボックスをはずして操作してください。
- 左右の高さ表示が合っているかを、必ず確認してください。高さが違うときは再度調節し直してください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 高さを下げるときは車輪などが前後に移動します。足元に注意してください。
- 高さ調節をするときは、必ずスウィングをロックしてから行ってください。故障の原因となります。
- 高さ調節時に、ラックの脚の間に手を入れないでください。ケガの原因となります。

1 キャスターロックレバーが下がり、ロックされていることを確認する。

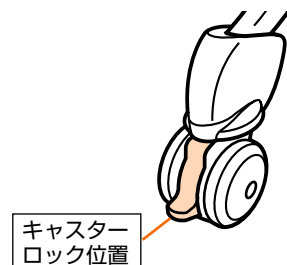
詳しくは「キャスターの使いかた」(9ページ)をご覧ください。

2 左右のサイドガード下にある高さ調節ボタンを押し、調節ボタンを押し上げたまま、本体を上下させて、利用する高さにする。

本体を持ち上げるようにすると、高さ調節ボタンが押し上げやすくなります。

3 左右の高さ調節ボタンから指をはなす。

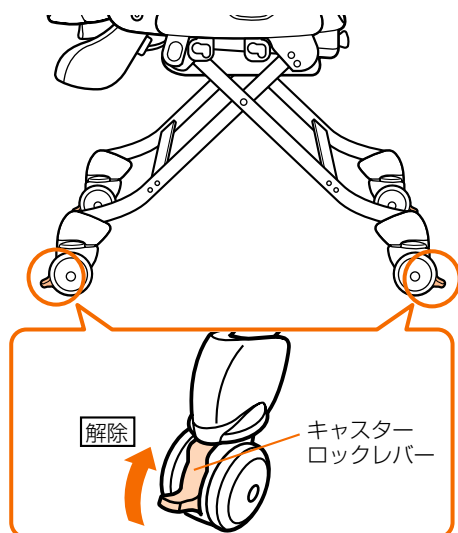
4 左右の高さ調節表示が同じ位置であることを確認する。

左右の高さが違う場合は、もう一度やり直してください。

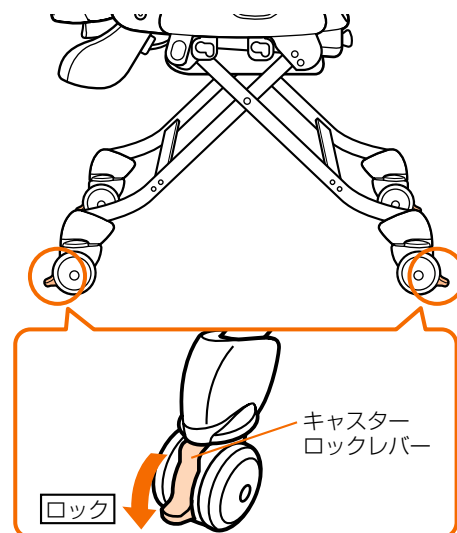
キャスターの使いかた

室内で向きを変えたり、移動するときに使用します。
移動しないときには、必ずキャスターをロックしてください。
キャスターは、右図のように外向きでロックします。

⚠警告
- キャスターは水平な床で製品の向きを変えたり、移動するときに使用するものです。そのため、傾斜・階段・段差のある場所では使用しないでください。
- 移動するとき以外は、必ずキャスターロックレバーを下げ、キャスターをロックしてください。ロックされていないとラックが転倒し、お子さまが落下するおそれがあります。

⚠注意
- ラックを移動させるときは横すべりさせないでください。床面が傷つくおそれがあります。
- キャスターがロックされていないと、スムーズにスウィングできません。
- スウィングするときには、必ずキャスターをロックしてください。

キャスターを使用する場合

キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除する。

キャスターを使用しない場合

キャスターロックレバーを下げ、ロックする。

シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト)の使いかた

シートベルトとは、腰ベルトと股ベルト、肩ベルトの総称です。

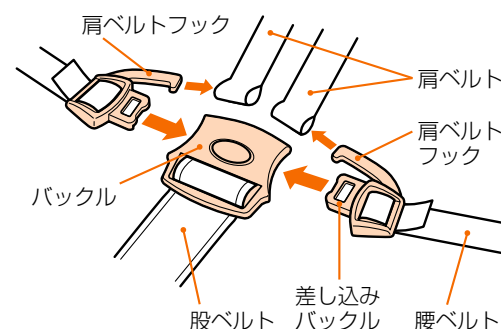
⚠警告
- 股ベルト、腰ベルトは必ず使用してください。簡易ベッドとして使用される場合は、必ず肩ベルトも使用してください。※スウィングをするときも同じです。
- シートベルトを締めずに乗せたり、締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落下するおそれがあります。またシートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- お子さまを寝かせるときは、肩ベルト通し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。
- 左右の肩ベルトを交差させて装着しないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。
- いすとして使用するとき(2ページのリクライニング位置③④⑤)は、肩ベルトは取りはずしてお子さまの手の届かない場所に保管してください。

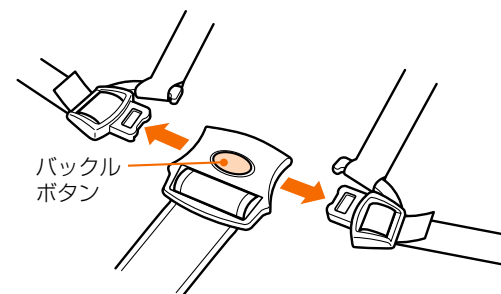
シートベルトの締めかた、はずしかた

シートベルトの締めかた

1. 左右の肩ベルトに肩ベルトフックを通す。

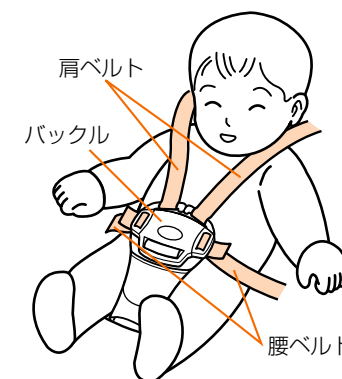
2. バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを、『カチッ』と音がするまで差し込む。

3. 肩ベルト、股ベルトを引っぱり、はずれないことを確認する。

シートベルトのはずしかた

バックルボタンを押す。

お子さまへの装着のしかた

1. お使いになるリクライニングの状態にする。

2. お子さまを寝かせて、足の間からバックルを引き出す。

3. 左記「シートベルトの締めかた」を参照し、図のように正しくシートベルトを締める。

- お子さまが抜け出さないように、シートベルトを適切な長さに調節してください。
- 長さ調節時に差し込みバックルをはずしたときは、「4.差し込みバックルを取り付ける」(26ページ)をご覧になり、確実に取り付けてください。
- 各シートベルトの使用については、2ページの「使いかたの目安」をご覧ください。

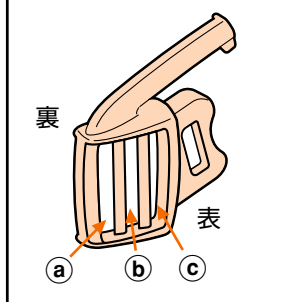
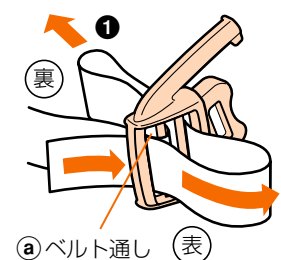
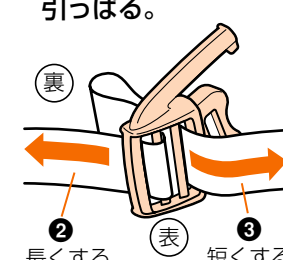
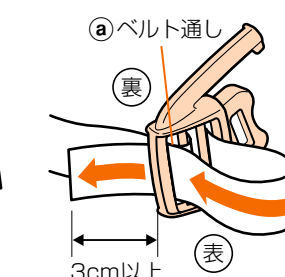
次ページにつづく

シートベルトの長さ調節

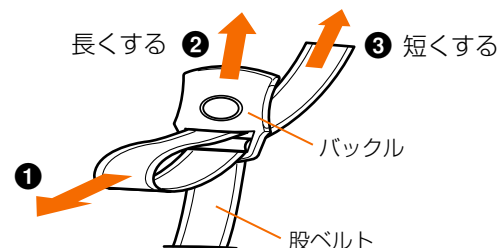
⚠警告
- シートベルトの長さは、お子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。お子さまが落下するおそれがあります。
- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節し直してください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが首に絡まるおそれがあります。
- 調節後は、シートベルトを引っぱり、抜けないことを確認してから調節してください。
- リクライニングで背もたれを寝かせた状態で使うときは、必ず肩ベルトも使用してください。
- 各ベルトは、お子さまの体にあわせてきちんと締めてください。

腰ベルトの長さ調節

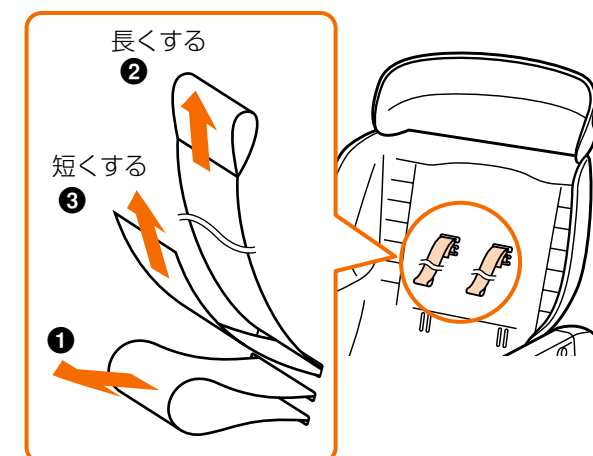
差し込みバックルのベルト通し(ⓐⓑⓒ)

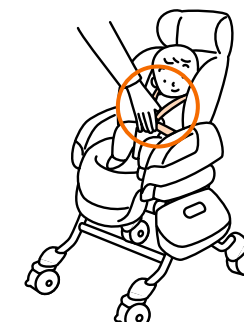
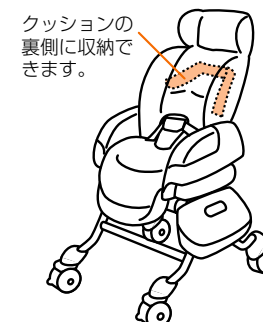
裏 表 ⓐ ⓑ ⓒ

1. 腰ベルトの先端をⓐベルト通しからはずし、❶調節したい分の長さを引き出す。

2. 腰ベルトを左右に引っぱり、ベルトの長さを調節する。長くするには、❷の方向に引っぱり、短くするには、❸の方向へベルトの先端を引っぱる。

3. 腰ベルトの先端を、ⓐベルト通しに通す。

バックル表側に出ている腰ベルト先端は、3cm以上の長さを残してください。

股ベルトの長さ調節

1. 股ベルトから股ベルトカバーを引き抜く。
2. ❶バックル表側から、調節したい長さの股ベルトを引き出す。
3. 股ベルトを長くしたいときは
   …❷バックルを引っぱる。
   股ベルトを短くしたいときは
   …❸ベルトの端を引っぱる。

肩ベルトの長さ調節

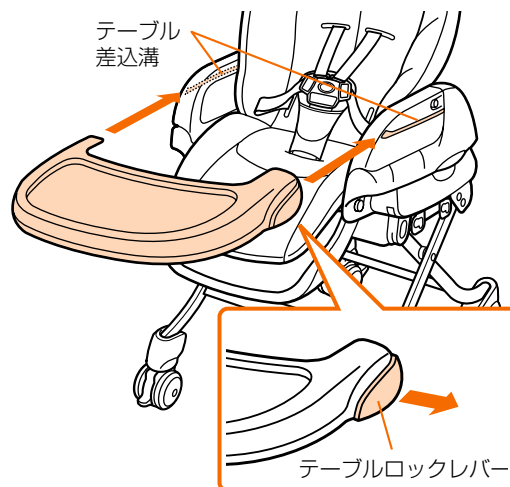
1. シートクッションをめくり、本体背もたれの肩ベルト調節部を出す。
2. 背もたれ表面から、肩ベルトの右図❶を手前に引き出し、肩ベルトをゆるめる。
3. 肩ベルトを長くしたいときは
   … 右図❷(先端が輪になっている部分)のベルトを手前に引く。
   肩ベルトを短くしたいときは
   … 右図❸(先端が切れてる部分)のベルトを手前に引く。

肩ベルトの取り付けかたについては、24ページの「取り付けかた」をご覧ください。

- リクライニングで背もたれの角度を変えると、シートベルトの長さが変わります。背もたれの角度を変えた後は、シートベルトの長さを調節し直してください。

- ベルト調節の目安は、シートベルトとお子さまの間に大人の指が入るくらいです。

- 肩ベルトを使わないときは、シートクッションの裏側に収納してください

テーブルの取り付けかた

お子さまの成長にあわせて、前後方向に3段階の調節ができるテーブルです。

⚠警告
- 本体を持ち上げて移動するときは、テーブルを持たないでください。テーブルがはずれ、本体が落下するおそれがあります。
- テーブルでは、お子さまを支えられません。必ずシートベルトを使用してください。
- お子さまが本体側面の溝に指を入れると、ケガをするおそれがあります。
- テーブルの上に乗ったり、たたいたりしないでください。破損の原因となります。
- テーブルはお子さまの体にフィットさせてお使いください。

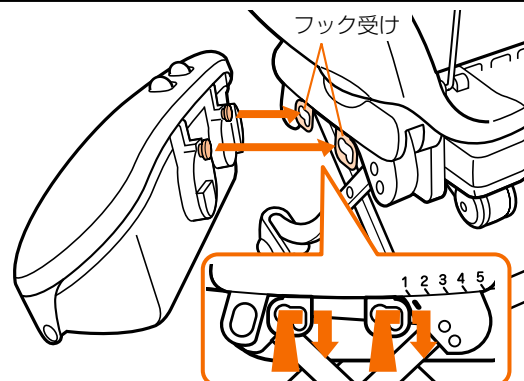
1. テーブル両側のテーブルロックレバーを、外側に引っぱる。
2. 本体側面のテーブル差込溝に、テーブルをあわせて差し込む。
3. 前後3段階からお好みの位置にあわせる。
4. テーブルを軽く前後に押して、抜けないことを確認する。

テーブルのはずしかた

テーブル両側の2ヵ所のテーブルロックレバーを外側に引っぱり、そのまま引き抜きます。

収納ボックスの取り付けかた

紙おむつやおしりふきなどが入れられる収納ボックスです。おむつが大きくなったときは、仕切りの位置を変えてお使いください。取っ手がついていますので、本体からはずしてお使いになるときも便利です。

⚠注意
- 使用しないときは、必ずフタを閉めてください。足で踏んだりすると危険です。
- 本体を持ち上げて運ぶときは、収納ボックスをはずしてください。収納ボックスがはずれ、落下することがあります。
- 収納ボックスを開けたままにしないでください。
- 収納ボックスに体重をかけないでください。
- 合計1.5kg以上の重さのものを収納しないでください。
- 収納ボックスは、収納状態では使用しないでください。

1. 収納ボックス背面のフックを、本体側面のフック受け左側の大きい穴に差し込む。
2. 収納ボックスを右下にスライドさせて、ロックする。(右図赤枠)

収納ボックスのはずしかた

収納ボックスを持ち上げながら左にスライドさせ、そのまま引き抜きます。

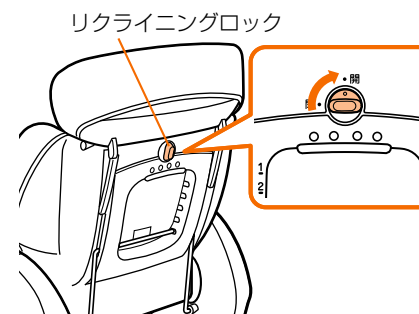
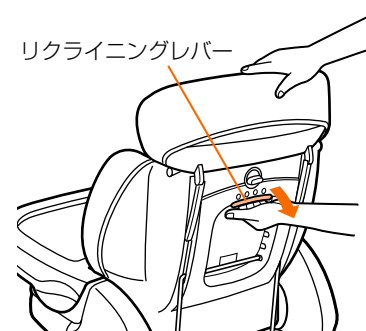
リクライニングの使いかた

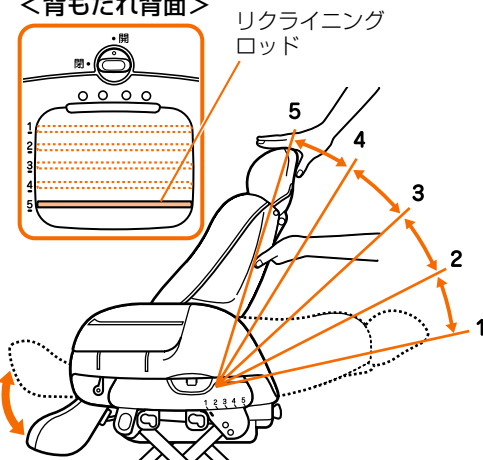
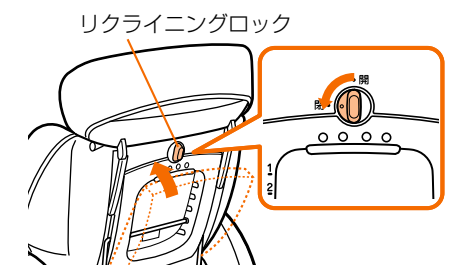
背もたれとステップが連動して動く、5段階のリクライニングです。

お願い 生後2〜3ヵ月までの首のすわっていないお子さまは、1番寝かせた状態で使用してください。

⚠警告
- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節し直してください。お子さまがずれ落ち、シートベルトが首に絡まるおそれがあります。
- リクライニング操作は、必ずリクライニングレバーを持って行ってください。

⚠注意
- リクライニングの操作をするとき以外は、リクライニングロックでロックしてください。
- リクライニング操作で背もたれを寝かすと、連動してステップが前方向に出てきます。操作をする前に、前方に障害物のないことを確認してください。

1 背もたれの裏のリクライニングロックを回して、ロックを解除する。

2 背もたれを片方の手で押さえながら、リクライニングレバーを手前に引く。

3 背もたれを押して、使用する角度を選ぶ。

<背もたれ背面>

4 リクライニングレバーを戻し、リクライニングロックを回してロックする。

リクライニングロッドが溝に入っていることを確認してください。

スウィングの使いかた

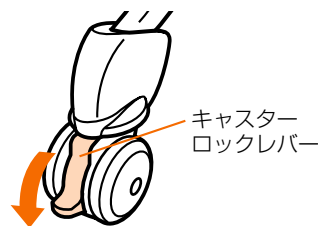
心地よいゆれが、お子さまを落ちついた気分にしてくれます。
スウィングの操作は、電動スウィング または 手動スウィング を選ぶことができます。
スウィングするときは、必ずキャスターをロックしてください。

⚠警告
- 必ずシートベルトを締めてください。
- 簡易ベッドとして使用するとき(2ページのリクライニング位置①と②)は、新生児〜5・6ヵ月ころ(お子さまの衣服などを含めた荷重制限は2.5kg〜9kg、身長70cmまで)にお使いください。
- 激しくスウィングさせないでください。
- スウィングは保護者が行い、必ず付き添ってください。また、スウィング時間の目安は15分です。それ以上のスウィングは避けてください。
- スウィングは簡易ベッドのみの機能ですので、いすのとき(2ページのリクライニング位置③④⑤)には使用しないでください。いすのときに使用した場合、テーブルなどの間に手足などをはさんだり、乗り降りするときに不安定になります。特にお子さまがふざけて使用した場合、転倒などのおそれがあります。
- お子さまがブランコのようにして遊ぶことは危険です。転倒や転落のおそれがあります。

⚠注意
- スウィングは水平な床で使用してください。(床が水平でないと、スウィングが正常に動作しない場合があります)
- お子さまを寝かせるときは、肩ベルトの通し穴の位置に肩をあわせて寝かせてください。
- 生後2〜3ヵ月で首のすわっていないお子さまを乗せてスウィングするときは、背もたれを1番寝かせた角度にしてください。背もたれを立たせた状態でスウィングすると、お子さまが前のめりになったり、頭がぐらついたりします。
- 授乳後30分以内のお子さまには、スウィングを使用しないでください。ミルクを吐くことがあります。
- スウィングを使用するときは、お子さまのようすをよく見ていてください。異常が見られるときは、すぐに中止してください。
- スウィングにより本体が前後方向に動くことがあります。あらかじめ障害物のないことを確認してください。
- 収納状態では、スウィングさせないでください。

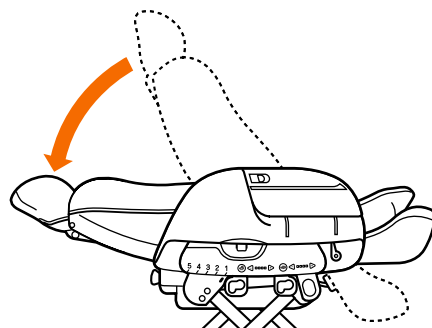
電動スウィング/手動スウィング共通の操作

ラックは段差などのない水平な床で使用してください。
※スウィングは、水平でない床や段差がある場所では正常に動作しないことがあります。

1 キャスターロックレバーを下げて、4ヵ所すべてのキャスターをロックする。

2 リクライニングで背もたれを寝かせた角度にする(1または2)。

詳しくは「リクライニングの使いかた」(14ページ)をご覧ください。

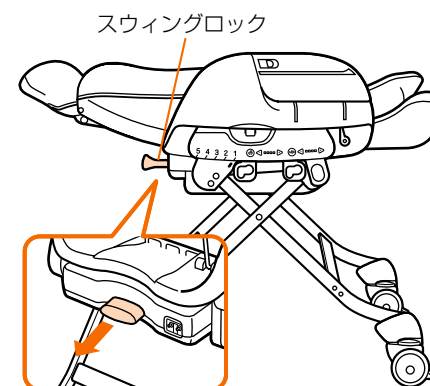
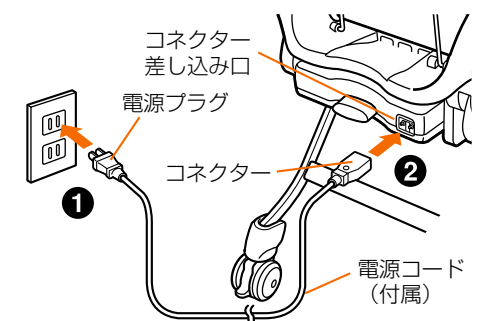
つづく

電動スウィングは、次ページ手順3へ
手動スウィングは、19ページ手順3へ

電動スウィングの場合

⚠警告
- ラックの座面に水などがかかった場合は、すぐにコンセントから電源プラグを抜き、水分を拭き取ってください。またクッションを取りはずして、本体内部に水分が流れ込んでいないことを確認してください。多量の水分が流れ込んだ場合は、使用を中止して当社コンシューマプラザにお問いあわせください。
- お子さまが電源コードをなめたり、引っぱったりしないように注意してください。また使用しないときは、電源コードをお子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 電源コードを接続するときは、コネクターに異物がついていないことを確認してください。異物がついたまま接続すると、火災のおそれがあります。
- 電源プラグに付着したほこりは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。火災のおそれがあります。

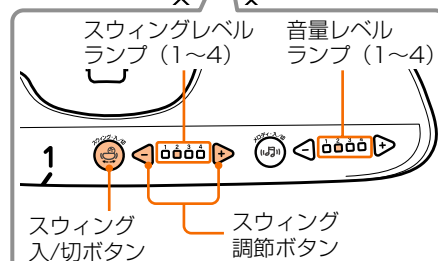
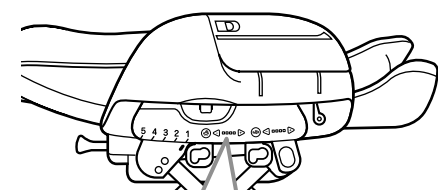
⚠注意
- スウィングは水平な床で使用してください。電動スウィングが停止したりスムーズに動作しない場合は、段差のない水平な床に移動して使用するか、またはスウィングレベルを2以上でお使いください。
- お子さまが乗っていない状態で電動スウィングを使用したとき、床の水平状態によってはスウィングが停止したり、スムーズに動作しない場合があります。その場合は段差のない水平な床に移動して使用するか、またはスウィングレベルを2以上でお使いください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- 電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 本体を温度差のある部屋に移動したり、急激な温度変化を与えると本体内部が結露し誤作動の原因となりますのでご注意ください。※詳しくは、「故障かなと思う前に」(29ページ)をご覧ください。
- 長時間、連続使用したときには、裏面カバーがあたたまる場合がありますが、使用上問題ありません。
- 裏面カバー付近から異臭が発生することがありますが、使用上問題ありません。
- 電動スウィング中は手で揺らさないでください。誤作動を起こし、異常なスウィングをする場合があります。
- 本製品に付属の電源コードは、ロアンジュ オートスウィング専用です。他の電器製品に使用しないでください。

3 お子さまを寝かせて、シートベルトを装着する。

4 背もたれの下のスウィングロックを引き出して、ロックを解除する。

5 ❶電源コード(付属)の電源プラグをコンセントに差し込み、❷コネクターを本体後部のコネクター差し込み口にセットする。

電源が入り、スウィングレベルランプと音量レベルランプが、前回使用時の状態で点灯します。
※次ページの手順6のイラストを参照してください。

次ページにつづく

6 スウィング調節ボタンで、スウィングレベルを決め、スウィング入/切ボタンを押す。

スウィングレベルランプが点滅し、電動スウィングがスタンバイ状態になります。

電動スウィングの調節について詳しくは、18ページをご覧ください。

7 最初に手で揺らして反動をつける。

電動スウィングが始まります。

※最初に手で反動をつけないと、電動スウィングは開始しません。

- ●約15分後に自動的に電動スウィングは止まります。
- ●メロディを電動スウィングと同時に使用している場合は、電動スウィングの自動停止にあわせてメロディも自動停止します。

電動スウィングを途中で止めるには

電動スウィングを途中で止めたい場合は、スウィング入/切ボタンを押します。

スウィングレベルランプが、点滅から点灯に変わります。

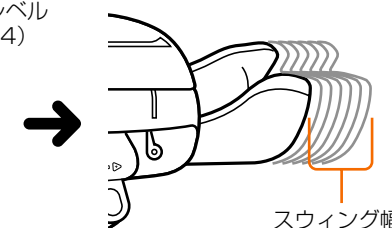
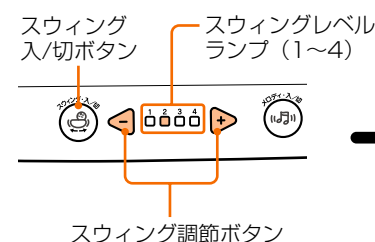
●スウィングを使用しないときには

スウィングレベルランプが点灯している状態で、スウィングロックを押し込み、スウィングをロックしてください。

スウィングの調節について

お子さまのようすを見ながら、スウィングの強弱を調節してください。また、スウィングと同時にメロディを使用する場合は、「メロディの使いかた」(20ページ)をご覧ください。

スウィングの大きさを変えるには

スウィング調節ボタンを押して、スウィングのレベル(1〜4)を選びます。(下表を参照してください)

※スウィング中にスウィングの大きさを変えることもできます。

大きさ	スウィング幅
レベル1	小
レベル2	↕
レベル3	
レベル4	大

お願い

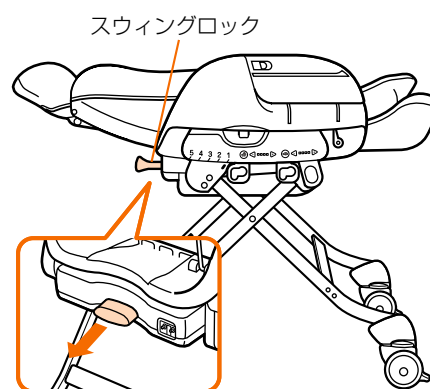
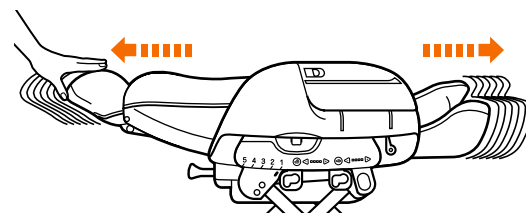
※柔らかい床面や段差がある床面で使用すると、スウィングが正常に動作しないことがあります。フローリングなど、硬い平らな床面で使用してください。

- スウィングを正常に動作させるために、製品が傾いた状態(段差がある場所など)での使用はおやめください。
- スウィング幅が小さくなりすぎて、スムーズにスウィングしない場合があります。スウィングレベルを1つ上げて使用してください。
- スウィング幅が大さくなりすぎて、内部ストッパーに当たる場合があります。スウィングレベルを1つ下げて使用してください。

手動スウィングの場合

手順1～2は、15ページを参照してください。

3 お子さまを寝かせて、シートベルトを装着する。

4 背もたれの下のスウィングロックを引き出して、ロックを解除する。

5 手で、背もたれをゆっくり押してスウィングさせる。

※途中で電動スウィングに切り換えたいときは、「電動スウィングの場合」(16ページ)の手順4以降の説明にしたがってください。

●スウィングを使用しないときには
スウィングロックを押し込み、スウィングをロックしてください。

メロディの使いかた

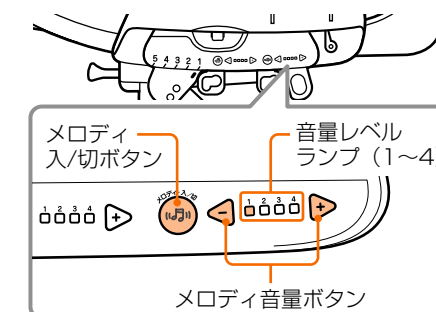
7曲のメロディが用意されています。メロディだけで使用することも、スウィングと一緒に使用することもできます。

注意 メロディの音量はお子さまが驚かない程度に調節してから、メロディ／入切ボタンを押してください。

1 お子さまを寝かせて、シートベルトを装着する。

2 ❶電源コード(付属)の電源プラグをコンセントに差し込み、❷コネクターを本体後部のコネクター差し込み口にセットする。
(詳しくは、16ページの手順5をご覧ください)

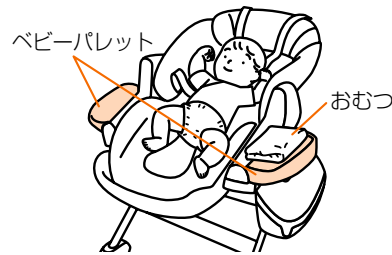
曲目
1.大きな古時計
2.モーツアルトの子守歌
3.シューベルトの子守歌
4.ブラームスの子守歌
5.ゆりかごの歌
6.星の世界
7.アベマリア
※曲の途中でメロディを止めて、再度メロディを開始した場合は、次の曲からスタートします。ただし、電源プラグを抜いた場合は、1曲目からスタートします。

3 メロディ音量ボタンで、音量レベルをお好みの状態にセットして、メロディ入/切ボタンを押す。
ランプが点灯から点滅に変わり、メロディが始まります。音量を確認して、適切な音量レベル(1～4)に調節してください。
※小さい音量レベルから始めることをおすすめします。

●メロディの音量は、演奏途中でも調節することができます。
●約15分後に自動的にメロディは終了します。
●電動スウィングと同時に使用している場合は、電動スウィングの自動停止にあわせてメロディも自動停止します。

メロディを途中で止めるには

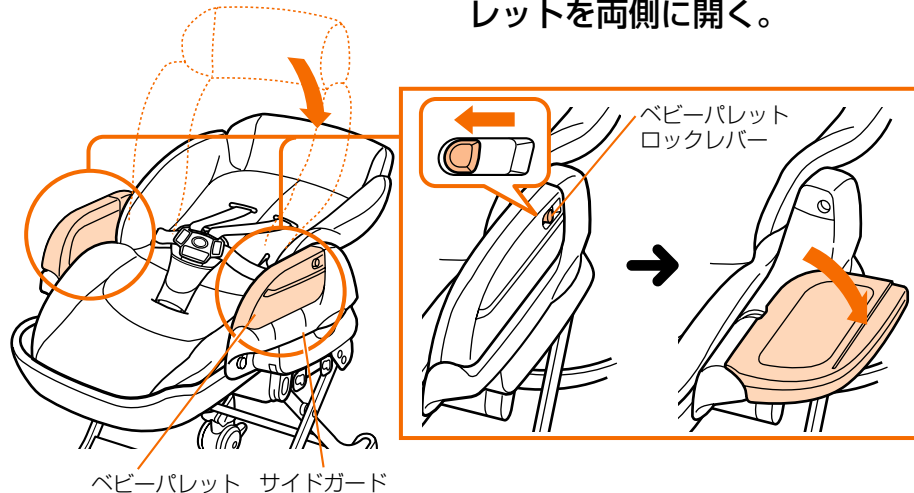
メロディを途中で止めたい場合は、メロディ入/切ボタンを押します。
音量レベルランプが、点滅から点灯に変わります。

ベビーパレットの使いかた

ワンタッチでサイドガードが開き、おむつ交換などをするスペースができます。
ベビーパレットは、着替え・おむつ交換専用のプレートです。
ベビーパレットは、リクライニングで背もたれを1番寝かせた状態にしてお使いください。

⚠注意
- 開いたベビーパレットに1kg以上の重量をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 本体を持ち上げて移動するときに、ロックされていないベビーパレットを持たないでください。破損するおそれがあります。
- お子さまがベビーパレットを操作したり、遊ぶことは危険です。指などをはさみ、ケガをするおそれがあります。
- ベビーパレットを開いた状態で、ベビーパレットの上にお子さまが乗ったり体重をかけないでください。
- ベビーパレットはおむつ交換と着替え以外には開かないでください。
- ベビーパレットを使用しないときには、確実に閉めてください。
- ベビーパレットを操作するときには、お子さまの体の一部をはさまないように、十分注意してください。

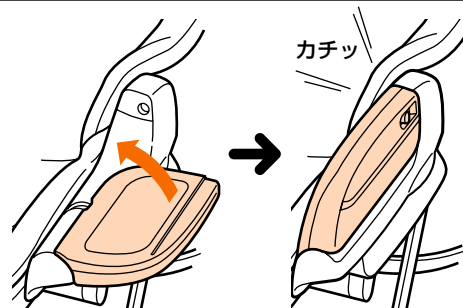
ベビーパレットを使用するときには

1 リクライニングで背もたれの角度を寝かせた状態にする。

2 ベビーパレットロックレバーを手前に引きながら、ベビーパレットを両側に開く。

ベビーパレットを収納するときには

閉じるときは、ベビーパレットを元の状態に戻す。

『カチッ』という音がして、ロックされます。

確実にロックされていることを確認してください。

収納レバーの使いかた

箱に収納するとき、コンパクトなサイズにできます。

⚠警告
- お子さまを乗せたまま、収納レバーを操作しないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 収納レバーの操作は、必ず保護者が行ってください。

⚠注意
- 収納レバーを操作するときは、必ず収納ボックスを取りはずしてください。
- 収納状態では、スウィングさせないでください。
- 収納レバーを操作してラックの高さを下げるとき、ラック本体と床面との間に足や指などをはさむおそれがあります。また車輪などが前後に移動しますので、足元にも注意してください。
- 収納した状態で移動しないでください。床面が傷つくおそれがあります。

1

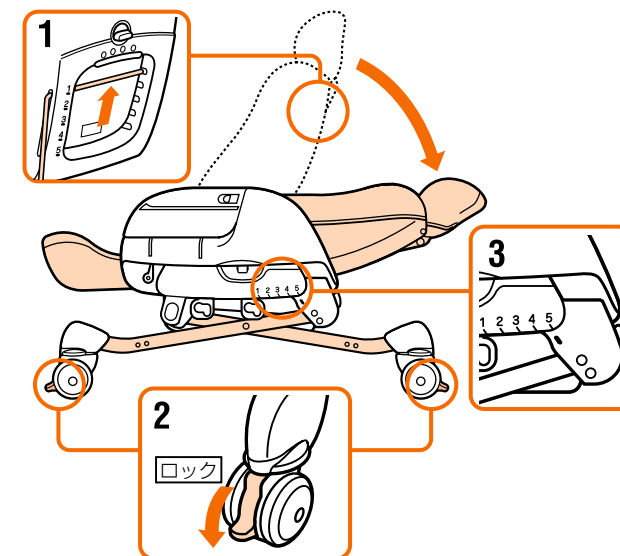
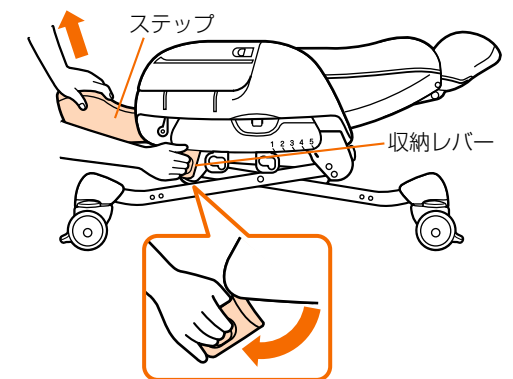
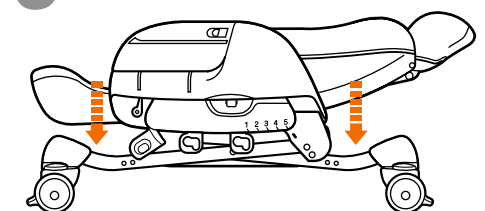
1. リクライニングで背もたれの角度を1番寝かせた状態にする。

詳しくは「リクライニングの使いかた」(14ページ)をご覧ください。

2. キャスターをロックする。

詳しくは「キャスターの使いかた」(9ページ)をご覧ください。

3. 本体の高さを１番下の位置にする。

詳しくは「高さ調節のしかた」(8ページ)をご覧ください。

2 ステップを片手で持ち上げながら、収納レバーを片側ずつ、図のように、手前方向に回して解除する。

3 そのままゆっくりと下げる。

- 再度、ラックを使用するときは、左右のサイドガード下にある高さ調節レバーを押し、そのまま本体を持ち上げて、利用する高さにしてください。
- 詳しくは「高さ調節のしかた」(8ページ)をご覧ください。

インナークッションの使いかた(RU-700のみ)

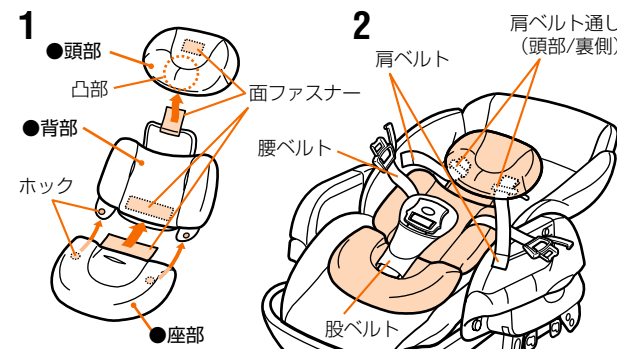
インナークッションは、お子さまを快適な姿勢に保つためのクッションです。
使用条件については、「使いかたの目安」2ページをご覧ください。

新生児〜2・3ヵ月ころ

首のすわらないお子さまの頭の横倒れを防ぎ、体全体を包み込んで姿勢を快適に保ちます。

●この月齢では、頭部/背部/座部を組みあわせて使用します。
●リクライニングの角度は、①で使用します。

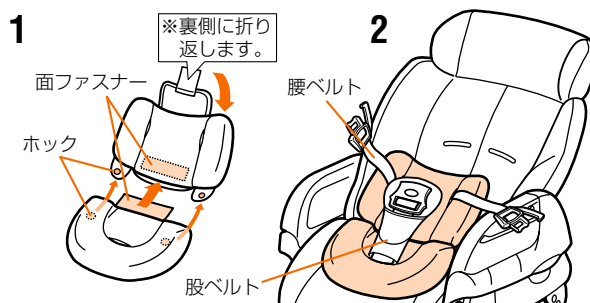
1. 頭部/背部/座部をホックと面ファスナーでとめます。
頭部の凸部が、お子さまの首の後ろになるように調節します。

2. 腰ベルト、股ベルト、肩ベルトを通し、インナークッションを取り付けます。

2・3ヵ月〜5・6ヵ月ころ

お子さまの体が横や前にずれることを防ぎ、姿勢を快適に保ちます。

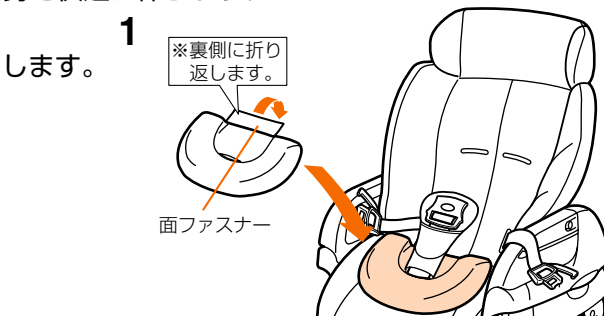
●この月齢では、背部と座部を組みあわせて使用します。
●リクライニングの角度は、①②③で使用します。

1. 背部と座部をホックと面ファスナーでとめます。
背部の上側の面ファスナーはクッションの裏側に折り返してください。

2. 腰ベルトと股ベルトを通し、インナークッションを取り付けます。

5・6ヵ月〜10・11ヵ月ころ

お子さまの体が前からずれることを防ぎ、姿勢を快適に保ちます。

●この月齢では、座部のみで使用します。
●リクライニングの角度は、③④⑤で使用します。

1. 股ベルトを通し、インナークッションを取り付けます
面ファスナーはシートの裏側に折り返してください。

10・11ヵ月〜48ヵ月まで

●この月齢では、インナークッションは使用しません。
●リクライニングの角度は、③④⑤で使用します。

使いかた

シートクッション、シートベルトの取り付けかた・はずしかた

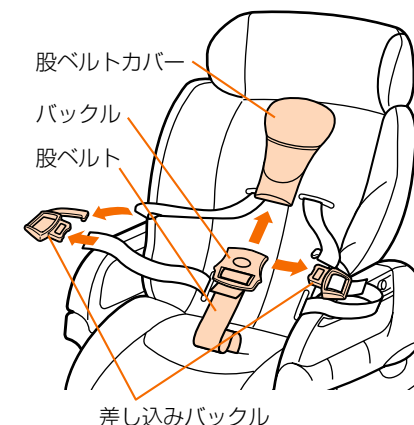
⚠警告

- シートクッションを取りはずしたまま、お子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- シートベルトの取り付けかたが不完全ですと、使用中にシートベルトが抜けるおそれがあります。確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。
- 間違った取り付けかたをすると、使用中お子さまが落下するおそれがあります。
- ベルトを取り付けた後は、それぞれのベルトの端部を引っぱり、抜けないことを確認してください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトをしめていても立ち上がるおそれがあります。目をはなさず十分注意してください。
- いすとして使用するとき(2ページのリクライニング位置③④⑤)は、肩ベルトは取りはずしてお子さまの手の届かない場所に保管してください。

はずしかた

1 リクライニングで背もたれを1番立てた状態にして、バックルボタンを押して、肩ベルトをはずす。

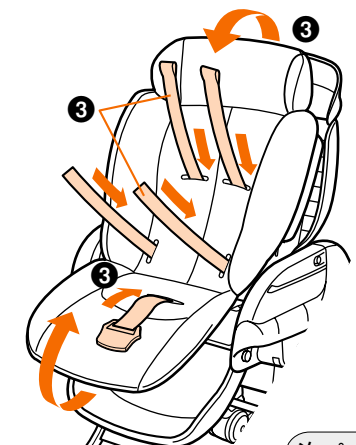
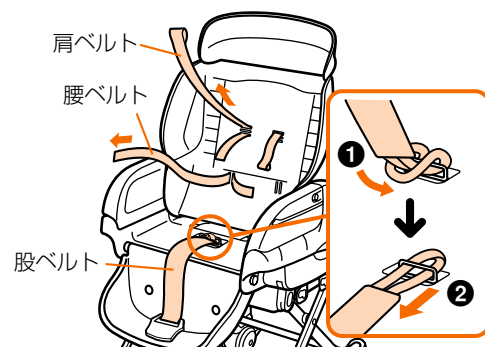
詳しくは「リクライニングの使いかた」(14ページ)をご覧ください。

2 腰ベルトから差し込みバックルをはずし、股ベルトから股ベルトカバーをはずす。

⚠注意
バックルは、股ベルトからはずすことはできません。

3 シートクッションをはずす。
❶ステップのホック2個をはずし、
❷本体中央部のフック2ヵ所と本体両側面の丸穴(2カ所)からベルト付ホックをはずす。

❸シートベルトを引き抜き、本体からシートクッションを取りはずす。

次ページにつづく

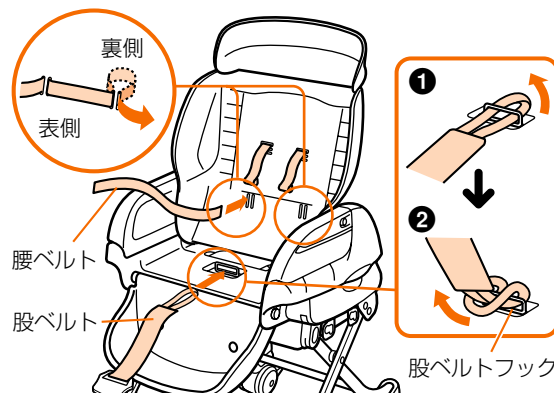
その他

4 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを本体からはずす。

取り付けかた

1 リクライニングで背もたれを1番立てた状態にする。

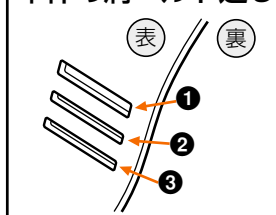
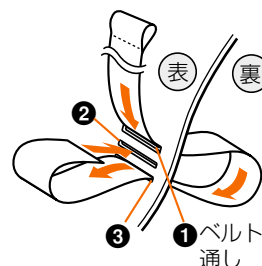
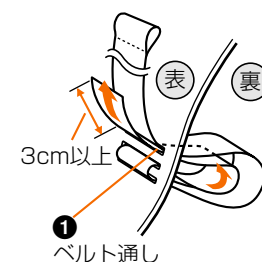
詳しくは「リクライニングの使いかた」(14ページ)をご覧ください。

2 腰ベルト、股ベルト、肩ベルトを本体に取り付ける。

腰ベルト、股ベルトの取り付けかた

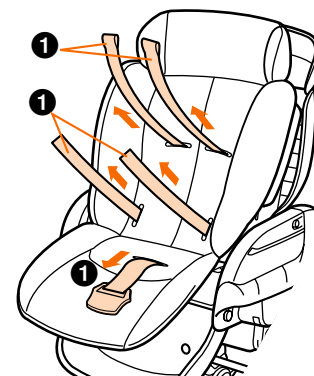
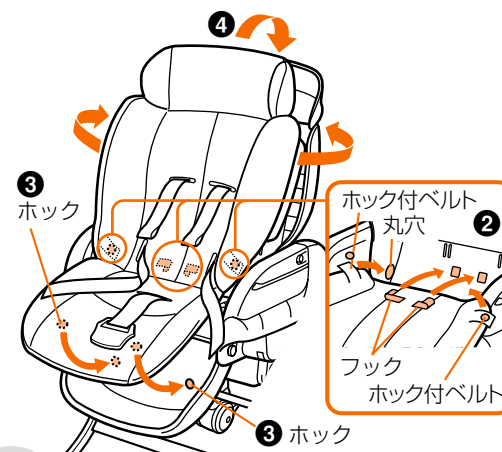
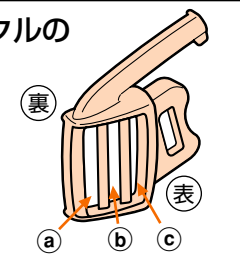
1. 腰ベルトは、○で囲んだ図のように片方のベルト通しから本体裏側に通し、いったん表側に引き出して、もう片方のベルト通しを同様に通す。
2. 腰ベルトの長さを調節して、同じ長さにする。
3. 股ベルトは、根元のひも部分を股ベルトフックに通し、ひもの輪に股ベルトを通す。

詳しくは「シートベルトの長さ調節」(11ページ)をご覧ください。

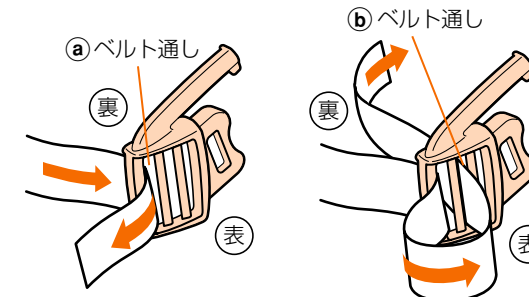
肩ベルトの取り付けかた

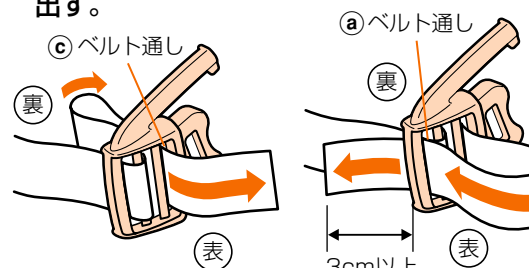
肩ベルトの表裏を確認してください。
縫い目の折り返しがある面が表です。
先端の折り込まれている面に注意して、取り付けてください。

1. 本体表側から、肩ベルトの先端を❶ベルト通しに通して裏側に入れる。
   ベルト先端を❸ベルト通しから表側に出し、❷ベルト通しに通して裏側に入れる。

2. ベルト先端を❶ベルト通しから表側に戻す。

3. 左右の肩ベルトの長さを調節して、同じ長さにする。

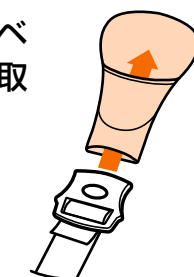
詳しくは「シートベルトの長さ調節」(12ページ)をご覧ください。

3 シートクッションをかぶせる。

❶シートベルトをシートクッションの表側に引き出す。

❷本体中央部のフック2ヵ所とホック付ベルトを本体両側面の丸穴(2ヵ所)に通してとめ、
❸ステップのホック2個をとめる。
❹シートクッションをかぶせる。

4 腰ベルトに差し込みバックルを取り付ける。

1. バックル裏側から、腰ベルトをⓐベルト通しを通して、表側へ引き出す。

2. バックル表側から、ベルト先端をⓑベルト通しを通して、裏側へ入れる。

3. バックル裏側から、ベルト先端をⓒベルト通しを通して、表側へ引き出す。

4. ベルト先端をⓐベルト通しを通して、裏側へ入れる。

腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

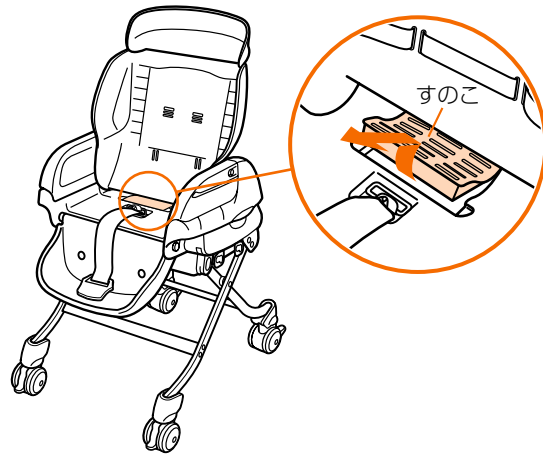
5 股ベルトに股ベルトカバーを取り付ける

6 左右の肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフックにかけ、差し込みバックルをバックルに差し込む。

ベルトの名称は、「シートベルト(腰ベルト・股ベルト・肩ベルト)の使いかた」(11ページ)をご覧ください。

その他

日常のお手入れのしかた

座面のお掃除

座面のお掃除は、シートクッションをはずした状態で背もたれを立て、座面のすのこをはずして行うことができます。すのこの下に落ちていたゴミなどを、背面に掃きだすことができます。

本体のお手入れ

⚠注意　中性洗剤原液でのお手入れや、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤でのお手入れはしないでください。本体を傷めるおそれがあります。

- 本体やテーブルが汚れたときは、薄めた中性洗剤またはぬるま湯を柔らかい布に含ませて、ふいてください。
- 車輪は、ほこりなどが付着すると滑りやすくなります。薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて、ふいてください。

⚠注意　お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

シートクッション、股ベルト、股ベルトカバー、肩ベルト、腰ベルト、インナークッション(RU-700のみ)のお手入れ

表示	説明
手洗い 30	液温は30℃を上限として手洗いしてください。
	漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	強く絞ると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干ししてください。

- クッションは取りはずして、左記の洗濯表示に従い洗濯してください。
- 股ベルトは、バックルを付けたまま洗ってください。（バックルは取りはずせません）
- 製品の特性上、多少色あせすることがあります。
- 洗剤は、蛍光剤、漂白剤、酵素などを含まない天然脂肪酸をベースとした洗剤(コンビ おむつ・肌着洗い)を使用することをおすすめします。
  ※特に敏感肌のお子さまは上記の条件にあった洗剤を使用してください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- 洗濯と脱水の際は、他の衣料品と区別されることをおすすめします。
- すすぎは充分に行ってください。
- 快適に使用していただくため、こまめに洗濯することをおすすめします。

※ 共通洗い替えクッションは、ご利用いただけません。専用の洗い替えクッションをご利用ください。

スウィングラックQ&A

スウィングラックを正しく効果的にご使用いただき、お子さまとの楽しいひとときにお役立てください。

Q1

ハイ＆ロースウィングラックは生後何ヵ月から使用できますか？

A

新生児から使用できます。
ただし、お子さまの首がすわるまでの2～3ヵ月までは、背もたれを１番寝かせた角度で使用してください。

Q2

１日にどれくらい、使用しても大丈夫ですか？

A

お子さまを座らせておく時間は、１回30分から1時間くらいが適当です。
お子さまが機嫌よくひとり遊びしていられる時間が目安になります。
お子さまには、やはりお母さまの抱っこが１番です。ラックに長時間いることはよくありません。
１日の使用時間は合計3～4時間が望ましいでしょう。
スウィングしながらお子さまが眠った場合は、すぐにベッドやふとんに移すと目をさますことがありますので、よく寝ついてから移してあげてください。

Q3

スウィングの時間は何分ぐらいが適当ですか？

A

お子さまが機嫌よく、快い表情でいられるかを目安にしてください。
気持ちよさそうに眠り始めたときはすぐに止めないで、しばらくスウィングを続けてあげたほうがよいでしょう。
10～15分くらいを目安に考えてください。

Q4

スウィングさせるときの最適な揺らしかたはありますか？

A

背もたれを｢スウィングの位置｣にしてお子さまを寝かせ、ようすを見ながらやさしくスウィングしてあげることが最適といえるでしょう。
お子さまが眠ったときは、徐々に揺らしかたを小さくしてあげるようにしてください。

故障かなと思う前に

こんなときは	調べるところと直しかた	参照ページ
スウィングしない	●スウィングレベルランプが点灯していますか？ →点灯していない場合は、電源プラグとコネクターの接続を確認してください。 ●スウィングレベルランプが点滅していますか？ →スウィングレベルランプが点灯のままで点滅しない場合は、もう1度スウィング入/切ボタンを押し直してください。 ●手で反動をつけましたか？ →最初に手で本体に反動をつけないと、スウィングは開始しません。また、反動が小さすぎてもスウィングは開始しません。もう1度反動を少し大きめにしてやり直してください。	15〜18
スウィングの動きがスムーズでない	●ラックを水平な床に置いていますか？ →段差のない水平な床に移動して使用するか、スウィングレベルを1つ上げてご使用ください。 →お子さまが乗っていない状態で電動スウィングを使用したとき、床の水平状態によっては、スウィングが停止したりスムーズに動作しない場合があります。その場合は、段差のない水平な床に移動して使用するか、スウィングレベルを1つ上げてご使用ください。	15〜18
スウィング中に座面が浮き上がる	●お子さまを肩ベルトの位置にあわせて寝かせていますか？ →お子さまのかたを肩ベルトの位置にあわせ、座面中央の適切な位置に寝かせてください。	16
メロディの音が出ない	●音量レベルランプが点灯していますか？ →点灯していない場合は、電源プラグとコネクターの接続を確認してください。 ●音量レベルランプが点滅していますか？ →音量レベルランプが点灯のままで点滅しない場合は、もう1度メロディ入/切ボタンを押し直してください。	20
スウィング中、内部ストッパーに当たる	●スウィング幅が大きくなりすぎて、内部ストッパーに当たる場合があります。 →スウィングレベルを1つ下げてご使用ください。	18
	●本体内部が結露したため、センサーが動きを感知できず、内部ストッパーに当たる場合があります。 →使用する部屋に30分〜1時間ほど放置してから、電源ボタンを押し、電源ランプの点灯を確認してください。次に本体を手で揺らし、スウィングをスタートさせてください。	16、17

修理、サービスをお申し付けになる前に、上記の点をお調べください。
点検後なお異常がある場合は、ご自分で修理なさらないで当社コンシューマープラザまでご連絡ください。
連絡先は、次ページの「点検とアフターサービスについて」をご覧ください。

製品仕様

定格電圧 AC100V
定格周波数 50/60Hz
定格消費電力 13W

保管のしかた

⚠注意 火の近くなど、高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

●直射日光を避け、湿気が少なく、雨やほこりがかからない場所に保管してください。

点検とアフターサービスについて

●ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
●危険ですから、むやみに改造や分解はしないでください。
●本製品の修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。
製品使用上は差しつかえありません。

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL.(048)797-1000
FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)／西日本担当
〒550-0014　大阪府大阪市西区北堀江1-1-18
TEL.(06)6536-0456
FAX.(06)6536-4468

廃棄方法について

●お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
●地球環境のため、放置はしないでください。

SG マークの被害者救済制度

SGマークが表示されたスウィングラックを、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「(財)製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

ただし、お買い上げ日より4年以内です。

●賠償についてのご注意

- 認定したスウィングラックそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は(財)製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者(お子さまなどの場合は保護者でもよい)が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定するところに届けてください。
(財)製品安全協会 東京都中央区日本橋本町1-5-9 共同ビル7F
TEL. (03) 5255-3631

●事故賠償に必要な項目
① 事故の原因となったスウィングラックの現品
イ)製品の名称、SG番号　ロ)製品の購入先、購入年月日
② 事故発生の状況
イ)事故発生年月日　ロ)事故発生場所　ハ)事故発生状況
③ 被害の状況
イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
ロ)被害の状況と程度(医師の証明書)